



陸軍中將正位勲三等功三級男爵小川又
次以下二名叙位ノ件
右謹テ裁可ヲ仰ク

明治三十四年七月九日
内閣總理大臣子爵桂太郎

内閣

明治廿四年七月 日

内閣書記官

内閣總理大臣

〆

内閣書記官長

印

陸軍中將正四位勲二等功三級男爵小川又次以下二
名叙位進階内則第二條ニ依リ叙位ノ件

内閣

正四位勲二等功三級男爵小川又次

叙從三位

從四位勲二等 小村壽太郎

叙正四位

位
一〇〇號

陸軍中將小川又次進位ノ件ヲ進達ス

明治三十四年六月八日

陸軍大臣男爵児玉源太郎



内閣總理大臣子爵桂太郎殿

陸軍省

大關野大尉七福樹封太郎

陸軍大尉七福樹封太郎
明治三十四年六月廿八日
陸軍中尉小川又次郎封太郎



陸軍中尉七福樹封太郎
右現位ニ叙セラレ以來五年以上勤勞不少候ニ付文武官叙位進
階内則第ニ條ニ依リ位一級ヲ進メ從三位ニ叙セラレ度
謹テ奏ス

明治三十四年六月廿八日

陸軍大臣男爵児玉源太郎





機密送第一一五號

特命全權公使小村壽太郎、叙位、儀別紙
通上奏致候間、可然御取計相成度此段申
進候也

明治三十四年七月四日

外務大臣曾禰荒助



内閣總理大臣子爵桂太郎殿

外務省

特命全權公使小村壽太郎へ別紙ノ通叙位
被仰付度此段謹テ奏ス

明治三十四年七月四日

外務大臣曾禰荒助



外務省

進階

正四位

明治廿九年六月廿日
叙後四位

明治三十一年九月十三日
任特命全權使(高等官等)

從四位勲二等小村壽太郎

外務省